tag たっぐ

ヒト・コト・モノを届けます

「多賀城発で多賀城着。」

たがさぽちゃん

2018.Aug vol.68 take free

「tag(たっぐ)」は多賀城をもっとよいまちにしていきたい、
社会や地域のために何か活動したいという方を応援する月刊フリーペーパーです。

地域の顔が見える夏祭りの風景

▲提灯に彩られる公園。浴衣姿もちらほら。

▲マジックを披露。地域の人が特技を活かせる場でもあります。

夏の楽しみといえば夏祭り。

小規模なものから大掛かりなもの、昼間に行われるものや夜に行われるもの、さまざまです。今回は、町内会の夏祭りに注目し、その魅力をお届けします。

子どもの頃、みなさんは近所のお祭りに行きましたか？神社や公園、学校といったふだん見慣れた場所も、この日はちょっと特別な場所。友達、友達のお父さん・お母さん、ご近所のおじいちゃん・おばあちゃん、あるいは今まで会ったことのない地域の人たちが集まります。

▲仙台育英学園の留学生と地域の人たち。この日初めて会い、意気投合したそうです。地域をつなぐのも夏祭りの良いところ。

地域にこんな人たちがいたんだ、いつも会う人だけどこんな一面もあったんだ、と知ることができるのも夏祭りの魅力。みなさんもぜひ遊びに行ってみてはいかがでしょうか？

いろんな人に会えるのも夏祭りの楽しさだね

Hint from "Tagasapo Press"

ヒント from たがさぽPress

たがさぽのブログから、地域づくりに役立つ記事をご紹介！

2017年7月6日(木)掲載
夏祭りのネタを探している方へ。
他地区ではこんなことをしています。

2018年7月31日(火)掲載
町内会の夏祭りに行ってきました2018 顔が見える地域編

2018年8月3日(金)掲載
町内会の夏祭りに行ってきました2018 子どもの参加編

"たがさぽPress"とは？

たがさぽスタッフによるブログ。興味がわいたらたがさぽPressへ！
http://blog.canpan.info/tagasapo/

「tag」のアンケートへご協力をお願いします！

今後の誌面づくりの参考にしたいと思いますので、ぜひご協力をお願いします！
また、以下のような情報もお待ちしています！

○自分たちの団体を取材してほしい
○ユニークな活動や、地域のためにがんばっている団体・人を知っている
○こんな話題を取り上げてほしい

Notice from Tagasapo

たがさぽからのお知らせ

たがさぽが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介

新・地域づくりの方程式 自分×𝑥×地域＝未来 参加者募集！

自分の『ｘ(エックス)』～趣味、好きなこと、得意なこと、経験、何とかしたいと思っていること～を活かすことで、「自分発」で取り組む人が増えて、より楽しい・素敵な地域を「無理せず」つくることができます。ゲストは「自分発」「無理しない」地域づくりを提唱し、全国で「ちょっとした『ｘ』」を地域で活かす後押しをしている尾野寛明さん。尾野さんのトークをきっかけに、自分の『ｘ』見つけませんか？

日時	2018年9月2日(日) 午前10時～12時
会場	山王地区公民館
費用	無料
定員	50名(先着順／要事前申込み)
申込み	多賀城市市民活動サポートセンター窓口または電話にて
問合せ	022-368-7745(多賀城市市民活動サポートセンター)

みんなで考える多賀城のこと

夏祭りが地域活動への入り口に

表面では夏祭りの魅力についてお伝えしました。ここでは、夏祭りと町内会活動のつながりをご紹介します。

地域への関わり方はさまざまだね

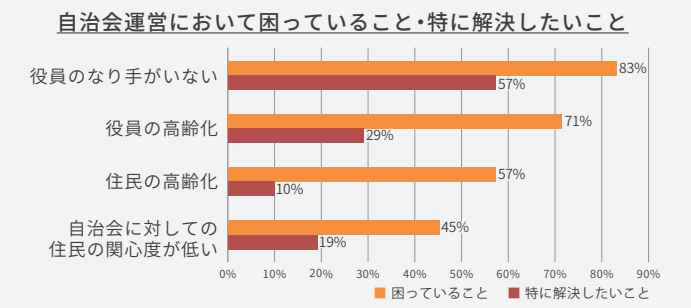
1 地域をつなぐ夏祭り

町内会は、そこに住む人たちがお互いに支えあったり、暮らしやすい地域をつくっていくための活動をしています。例えば、防災訓練や防犯パトロールといった安心安全のための活動、お茶飲みサロンのような住民同士が顔見知りになるための活動があります。

夏祭りの目的は、住民同士が交流し、地域について関心を持ってもらうことです。
子どもからご年配の方まで幅広い年代が参加するイベントなので、普段地域の活動に顔を出す機会が少なくても、楽しみながら地域のことを知ったり、同じ町内会の人たちと交流することができます。

近所のお父さん、お母さんも大活躍です。

2 地域への関わり方



上のグラフは、たがさぽが2017年度に実施した「多賀城市自治会課題・取り組み事例調査」の結果を集計したものです。自治会運営について困っていること、特に解決したいことについて行政区長のみなさんにお聞きし、回答の多かった項目を抜粋しました。

最も多かった「役員のなり手がいない」に関しては、回答いただいた地区（42地区）のうち83%が「困っている」、57%が「特に解決したい」項目として挙げています。2番目に多かった「役員の高齢化」と合わせて、多くの地区で次世代の役員のなり手の発掘と育成について課題を感じているようです。

夏祭りは、これらの課題を解決するチャンスでもあります。例えば、「夏祭りをちょっと手伝ってみたいけど、役員ではないから…」と思っているみなさんも、焼きそばを焼く、子どもが遊ぶコーナーの手伝い、あるいは企画のアイディアを出すという役割を担うこともできます。

「自治会に対しての住民の関心が低い」と感じている町内会役員のみなさん、多くの人が参加する夏祭りでその人に合った役割を分担することで、ただのお客さんとしてではなく、地域のことに関心を持ったり、町内会の活動に関わるようになる人が増えるのではないでしょうか。

広報多賀城8月号では、本記事と連動して
「多賀城の自治会・町内会を考える」
という特集を掲載しています。
あわせてご覧ください。

What's ? tag

「tag」には、多賀城（tagajo）の頭3文字、みんながタッグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ（価値）をつける、という意味が込められています。

@tagasapo
たがさぽのツイッターへのフォローお願いします！

http://www.tagasapo.org/
2018年4月にリニューアル！
「たがさぽ」のホームページはこちら

発行：多賀城市市民活動サポートセンター　〒985-0873 宮城県多賀城市中央2丁目25-3（多賀城市文化センター北隣・上水道部向かい）
電話：022-368-7745　FAX：022-309-3706　編集：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター